

## スタッフ便り

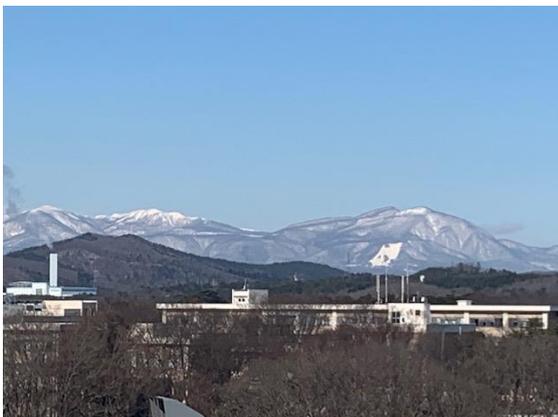
研究室を片平から青葉山に移して、1年が経過しました。1サイクル、それぞれのシーズンを過ごしてきて、改めて青葉山の自然の美しさを再認識しています。

周りがそもそも青葉山の大自然に囲まれているので(笑)、それほど目立たないためか、あまり言及する人がいませんが、実は本センターは、植栽がとても充実しています。見えるところでも、春紅葉、躑躅、椿、銀杏、レッドロビン、ハナミズキ、ソメイヨシノ、などなど。裏庭もあって、そちらにも何種類か植わっています。今年は、とある理由により夏の終わりに強剪定を実施したため、残念ながら銀杏の紅葉は見られませんでした。それぞれの季節でこれらの木々の成長や変化が楽しめます。周囲の新しい建物ではなかなかこれほどの充実ぶりはなく、このエリアでは本センターが異彩を放っていると言っても過言ではないでしょう。昔ながらの国立大学のセンターっぽさを残しています。

また、センター本館の入口から入ると、玄関の真ん中に、職員がメンテナンスしてくれている生け花が置かれていて、来訪者の心を和ませてくれています。私自身も毎日、外の植栽や、この生け花を眺めて、日々、心穏やかにセンター業務に取り掛かれています。

そんな、自然を愛する(?)、昔ながらの当センターですが、中身については日々成長・変化を続けています。昨年1月の改組で2研究部が新設され、10月には新研究部に外部から新教授を迎え入れるなど、組織に新しい風が吹き込んでいます。また、センターの中核であるスパコンは、今年8月に大幅増強が予定されていて、それに向けた作業が進行中。さらに、キャンパスネットワーク TAINS も、SINET 接続が強化されるとともに、学内のコアネットワークも今年更新を行って、高速化される予定です。これらの基盤整備によって、センター利用者の皆様には、これまで以上に充実したサービスを提供することが可能となると思いますので、ぜひご活用いただければと思います。(菅沼)

令和もあつという間に5年。3年振りに行動制限のないお正月でしたが、皆様どう過ごされたでしょうか。私は元旦に近場の神社に初詣に行ったのですが、駐車場への待機車列から始まり、いつもそれほど混んでいない境内にも参拝者の列、おみくじの代金箱から溢れている小銭、と驚きの光景を目の当たりにしました。「こんなに人が多いのは初めてみた」と並んでいる方々も驚いていました。ちなみに、おみくじは末吉で「物事は時間が解決してくれるのを待ちましょう」とのことでした…。そして仙台と言えば初売りですが、今年は人出も大分戻ってきたようで、某百貨店では1月2日の開店前には5,000人の列が出来ていたそうです(それでもコロナ前の6割というから驚きですが)。With コロナ時代、引き続き感染対策には気を付けつつ過ごしていきたいと思います。本年もよろしく願いいたします。(K.N)



### SENAC 編集部会

滝沢寛之 水木敬明 後藤英昭 高橋慧智  
今野義則 早坂和勝 大泉健治 小野 敏  
斉藤くみ子

令和5年1月発行  
編集・発行 東北大学  
サイバーサイエンスセンター  
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3  
郵便番号 980-8578  
PDF 作成 株式会社 東誠社